

# 第 63 回日本神経学会学術大会総括

## —全体アンケートを中心に—

### はじめに

第 63 回日本神経学会学術大会は、東京国際フォーラムを会場として、5 月 18 日(水)から 21 日(土)まで 4 日間の日程で行われた。企画プログラムとして学術プログラム 63 セッション、演題数 261 (英語演題数 ; 81, 31%)、教育プログラム (レクチャーマラソンを含む) 39 セッション、演題数 125 (英語演題数 ; 7, 6%)。一般演題として、口演 49 セッション、演題数 268 (英語演題数 ; 116, 43%)、ポスター 64 セッション、演題数 871 (英語演題数 ; 317, 36%)、学生演題数 87、メディカルスタッフ演題数 58 が集まった。

第 63 回大会は、コロナによる制限がまだ残る中でのハイブリッド形式の開催となった。しかし、規制緩和の傾向であり、大会参加者数は現地参加 4,194 名に WEB 参加を合わせて 8,296 名であり、過去最多の参加登録数となった。現地の感染対策を徹底したおかげで感染症のトラブルは特に無く、無事に閉幕した。本稿では、大会終了後に実施された全体アンケートの結果を示しながら、第 63 回大会について総括したい。

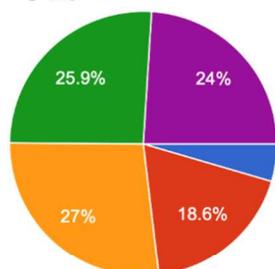
### A. 参加者について

- ✓ これまで同様、アンケートは大会終了から 1 週間後、Google システムの Web 入力式で実施した。第 56 回大会以降、本システムで全体アンケートが実施されているが、今回は過去最多の回答総数 (2,045 件) が得られた。第 63 回は久しぶりにオンサイトが中心の学会となり、参加者も多く、反響が高かったことが伺える。
- ✓ Q7 の参加日について、オンサイトは初日が最も少なかったが、いずれも 600 人以上の参加者であり、開催期間のなかで大きな変動はなかった。自由意見でも記載があったが、会場のアクセスの良さが、安定したオンサイトの参加につながったと思われる (Q33. Q34. 参照)。一方、WEB については最終日が 600 人未満であり、少なかった。自記式アンケートで多くの意見が出されていたが、WEB で視聴できるものに限りがあるので、許せる限りオンサイトを選んだ参加者が多かった可能性がある。
- ✓ Q8 のポストコロナにおける学術大会開催形式に関しては、従来のオンサイト支持 11.3%に対し、ハイブリッド開催支持が 83.6%と大きく上回った。自由意見でも今回のハイブリッド開催を評価し、コロナ収束後もハイブリッド形式の継続を希望する声が多く寄せられた。さらに、現状の WEB 配信

では十分に勉強できないため、もっと充実してほしいという意見も多数寄せられている（Q33、Q34、参照）。

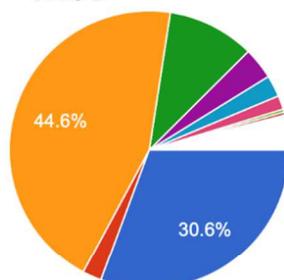
## アンケート回答者属性

### 年齢



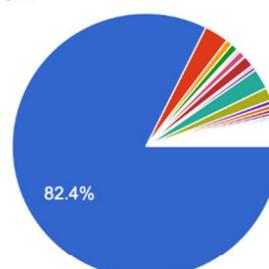
- ～30歳未満 Under 30 years old
- 30歳以上～40歳未満 between 30 and 40 years old
- 40歳以上～50歳未満 between 40 and 50 years old
- 50歳以上～60歳未満 between 50 and 60 years old
- 60歳以上～ 60 years old and over

### 所属



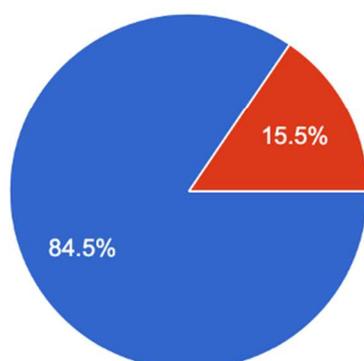
- 大学 university
- 研究機関 research institute
- 一般病院 general hospital
- 開業 private clinic
- 製薬企業
- 製薬会社
- 企業
- 製薬メーカー

### 職種



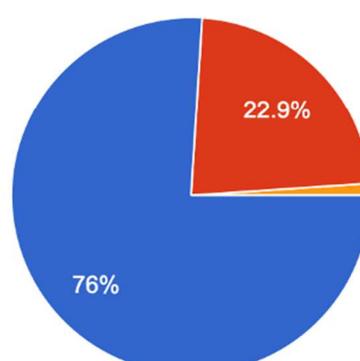
- 医師 medical doctor
- 研究者 researcher
- 看護師 nurse
- 臨床検査技師 clinical laboratory technician
- 臨床心理士 clinical psychologist
- 言語聴覚士 speech therapist
- 理学・作業療法士 physical/occupational therapist
- 介護福祉士 care worker

## 会員



**会員**  
**非会員**

## 専門医

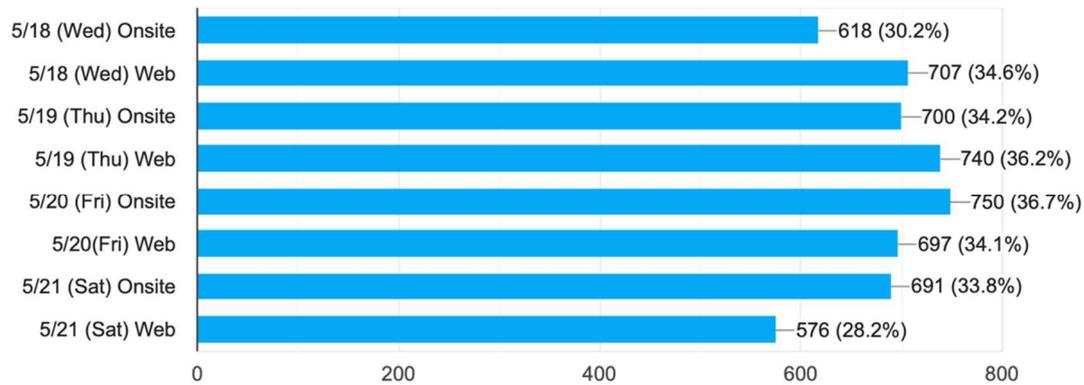


**専門医**  
**非専門医**  
**海外**

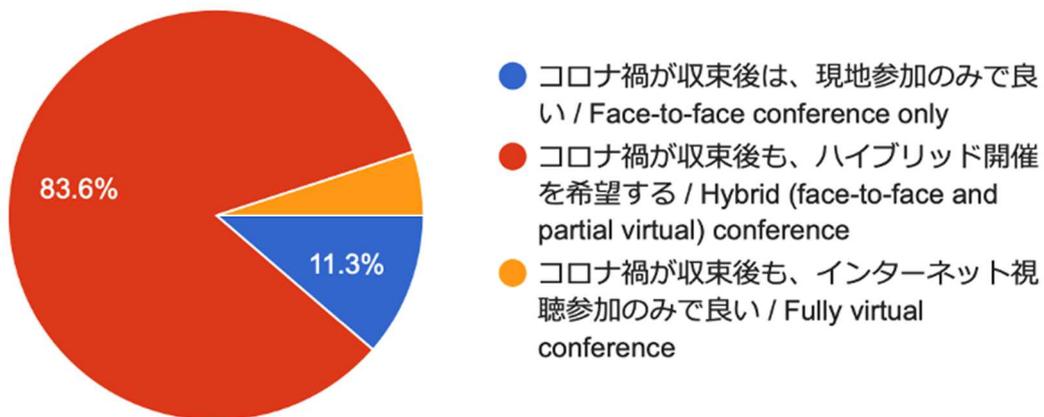
## 国籍

日本 2025名、韓国 4名、中国 4名、US 3名、バングラディッシュ 2名、フィリピン 2名、モンゴル 2名、インド 1名、トルコ 1名、ネパール 1名

### Q7. 会期中、何日目に参加されましたか？



### Q8. 今後コロナ禍が収束した場合、どのような学会の形式が望ましいと考えますか？



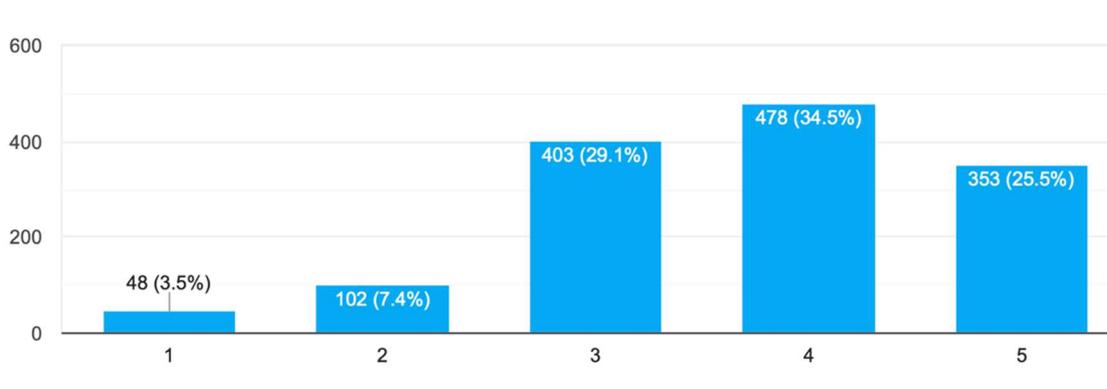
## B. 全体の運営について\*

\*B-Q1.から26.までの質問はすべて1が全く良くない(質問22のみ、大変問題があった)で5はとても良い(質問22のみ、全く問題がなかった)として、質に関する5段階評価

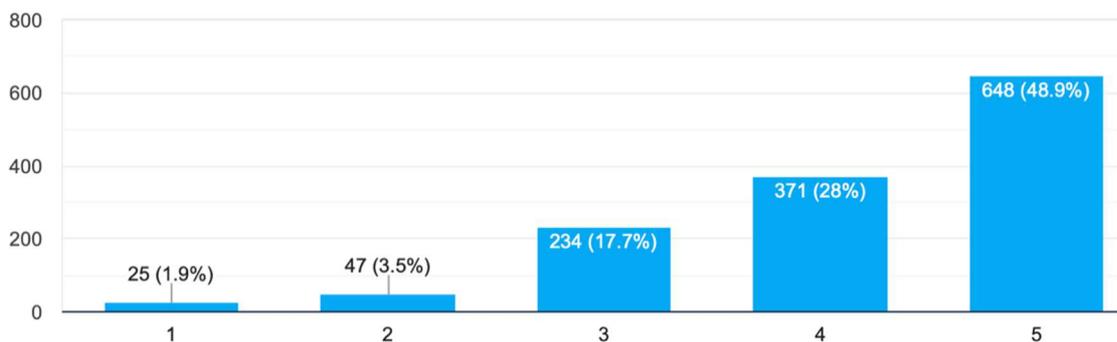
### ✓ Q1-4; 開催方法について (オンサイト、WEB、オンデマンド)

オンサイト、WEB、オンデマンド配信はいずれも良いという評価が多くついているが、特にWEBは5をつけている参加者が多く、依然として人気があると思われた。また、オンデマンド配信も7割以上の参加者が、4もしくは5と評価しており、“あると良い”と考えている参加者が多いことが示された。

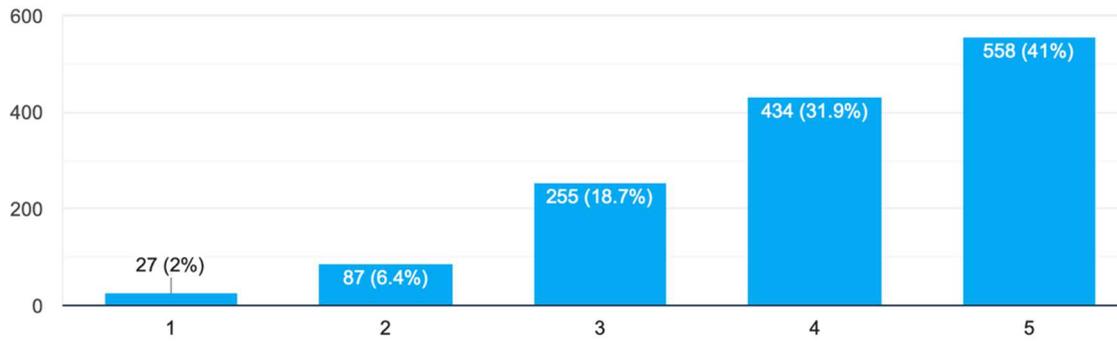
### Q1. (ライブ視聴された方、お答えください) 視聴参加に関するご案内は適切でしたか?



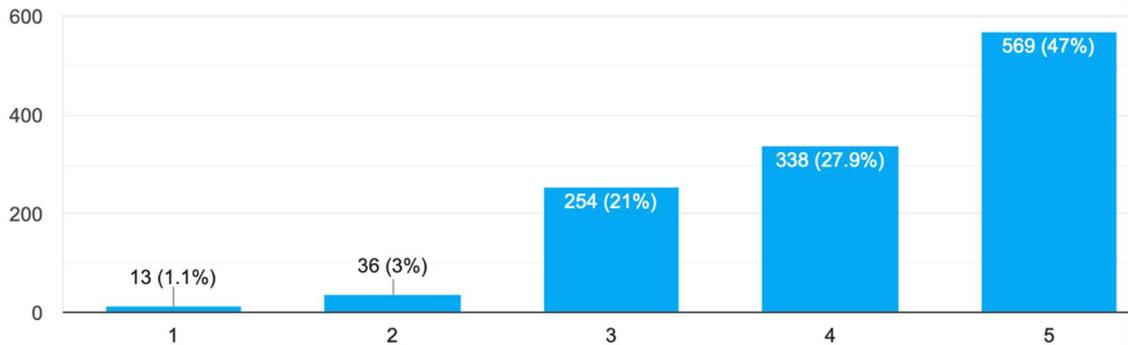
### Q2. (ライブ視聴された方、お答えください) WEB画面は問題なく視聴できましたか?(動画、音声など)



**Q3. (ライブ視聴された方、お答えください) 5月23日(月)よりオンデマンド配信がされています。オンデマンド配信について、どう思われますか?**



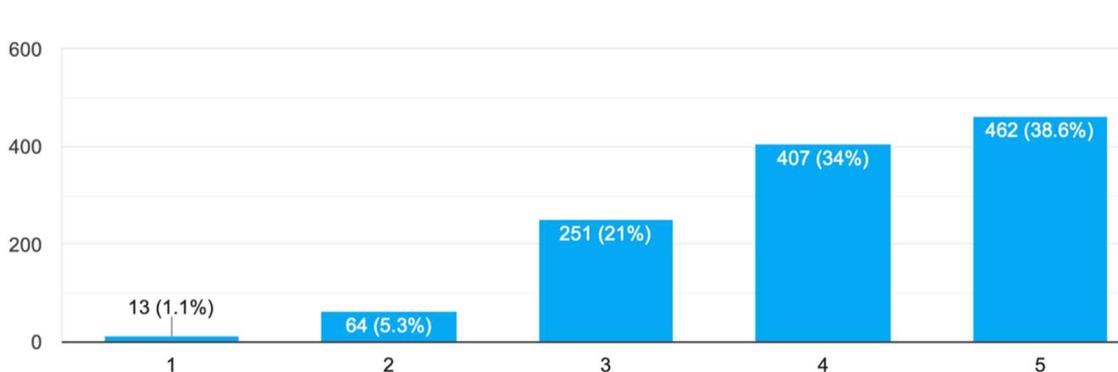
**Q4. (現地参加された方、お答えください) 5月23日(月)よりオンデマンド配信がされています。オンデマンド配信について、どう思われますか?**



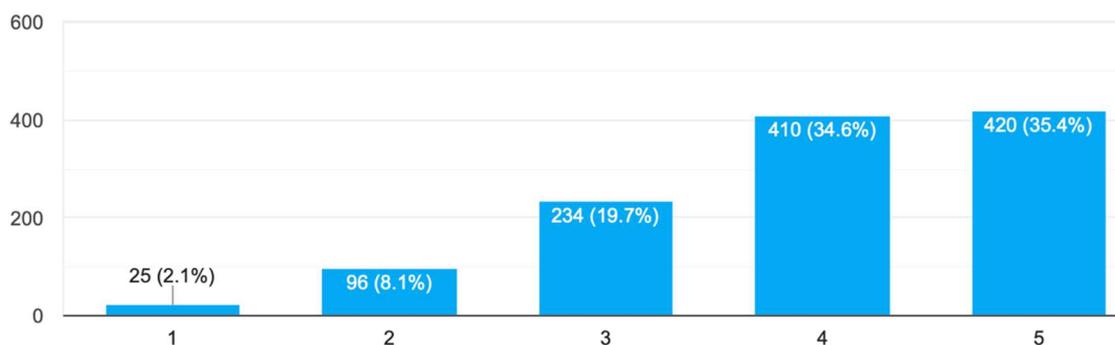
### ✓ Q5-8 会場について

コロナ感染対策の適切性については、参加者の7割以上が4点以上をつけており、きちんとなされていると評価された。これは62回大会と同様の傾向であった。63回大会では体温を毎日測定し参加証と一緒に提示する方法を採用したが、スムーズに受け入れられたと考えられる。会場の広さの満足度が高かったが、複雑さ、案内、設備については2点以下の割合もやや増えていた。東京国際フォーラムはA-Dと区画され、さらにガラス棟が独立しているため、慣れないと移動が煩雑であり、構造が影響していると思われた。案内についてはさらなる工夫が必要と考えられた。

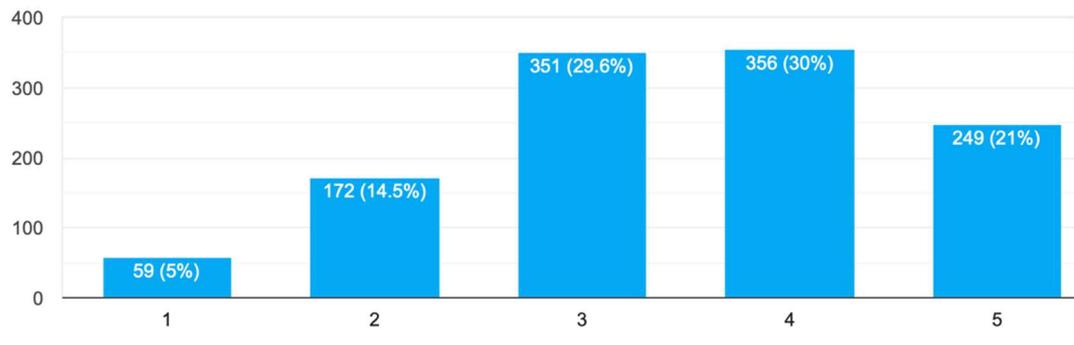
### Q5. (現地参加された方、お答えください)新型コロナウイルスに対する感染予防対策は適切でしたか?



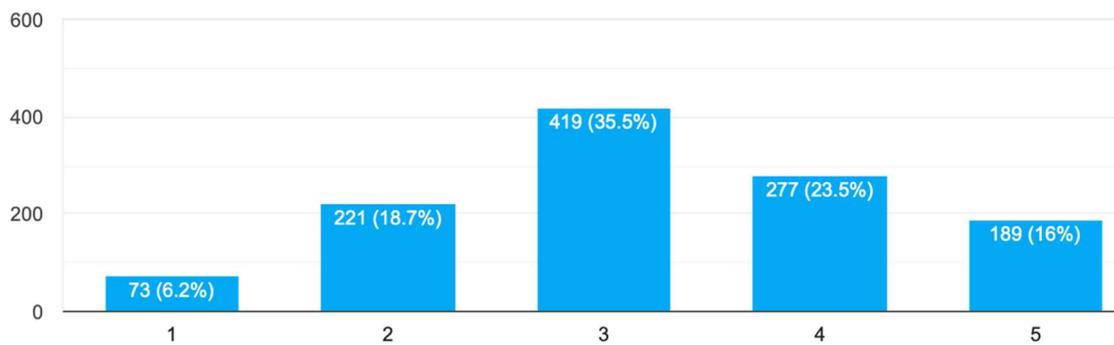
### Q6. (現地参加された方、お答えください)会場の広さは適切でしたか?



**Q7. (現地参加された方、お答えください)会場内の案内はわかりやすかったですか？**



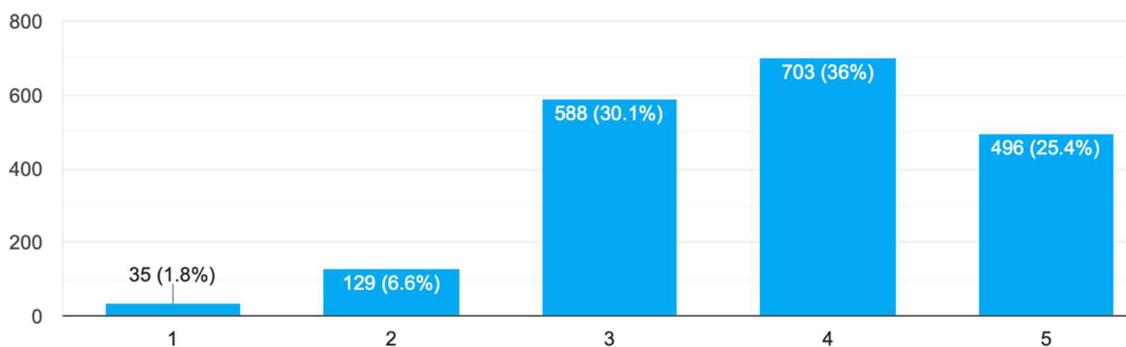
**Q8. (現地参加された方、お答えください)会場設備(ドリンク、休憩場所など)は満足できましたか？**



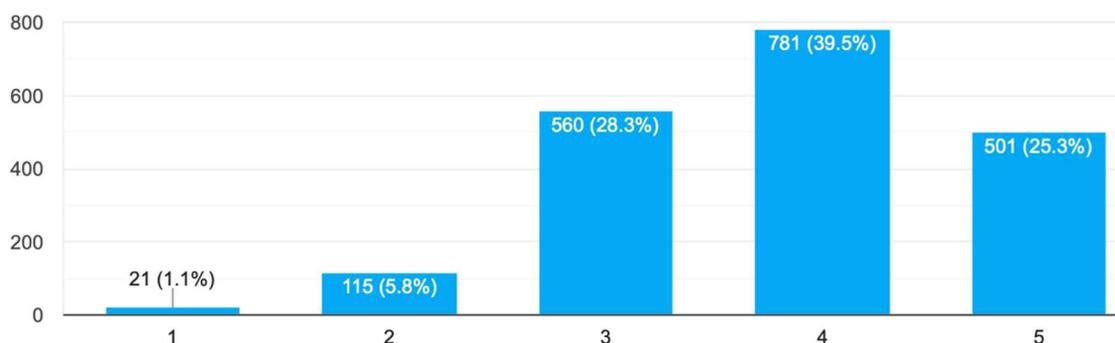
### ✓ Q9-12 抄録集、ホームページについて

ポケットプログラム、抄録集、ホームページ、案内メールなど情報発信については満足度が高い結果であった。63 回大会でも過去の大会で蓄積されたノウハウの元、作成されている。ハイブリット形式のため少し煩雑なところがあったため、案内などについてはわかりやすい工夫を心がけたこと、参加者が形式に慣れていることが伺われた。電子抄録アプリは3点が多く、改善する余地があると思われた。

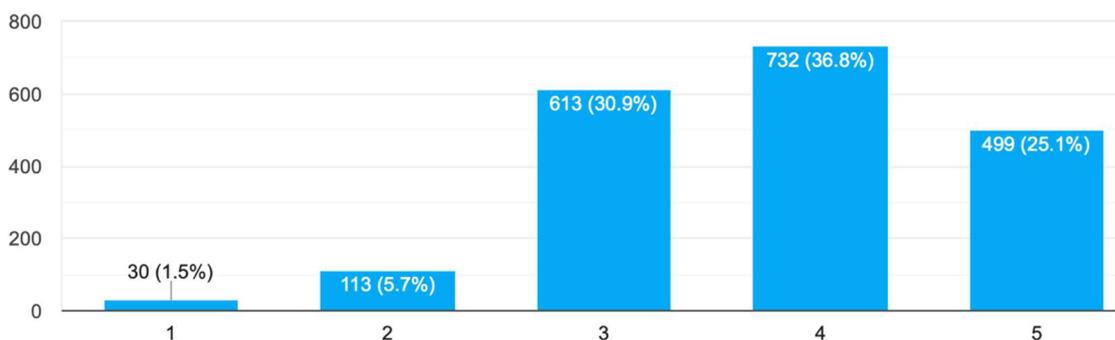
**Q9. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)ポケットプログラム、抄録集の内容は役に立ちましたか？**



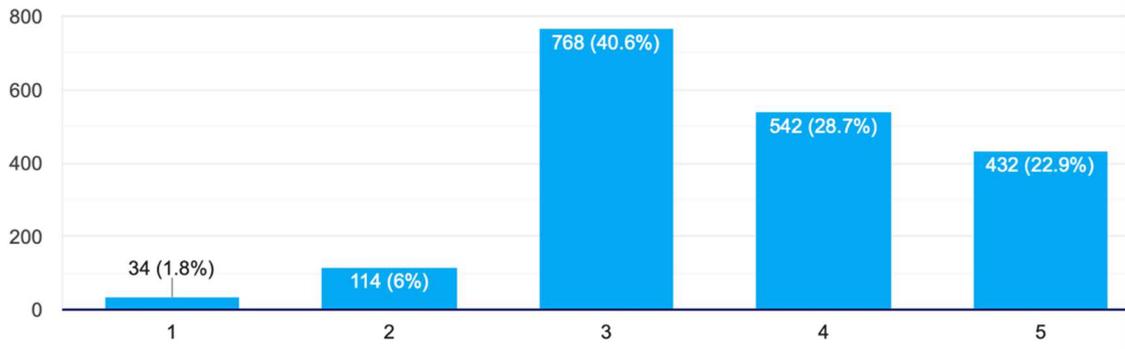
**Q10. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)学術大会ホームページは充実していましたか？**



**Q11. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)学術大会関連のご案内のメールは充実していましたか？**



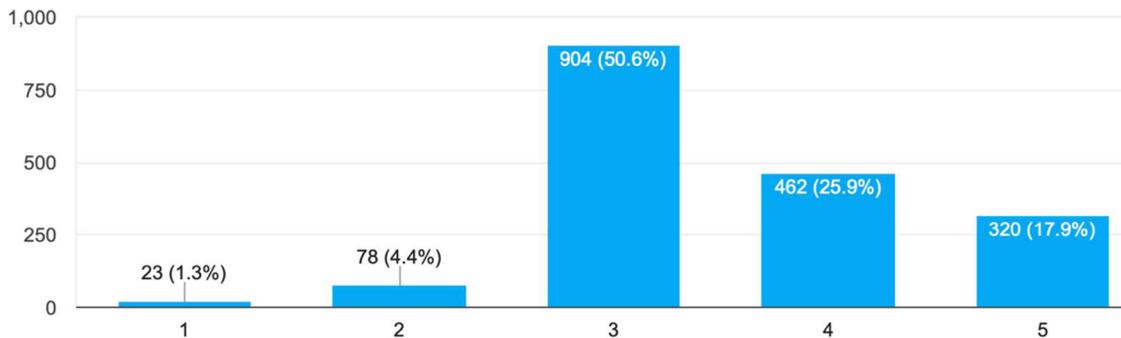
**Q12. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)電子抄録アプリは充実していましたか?**



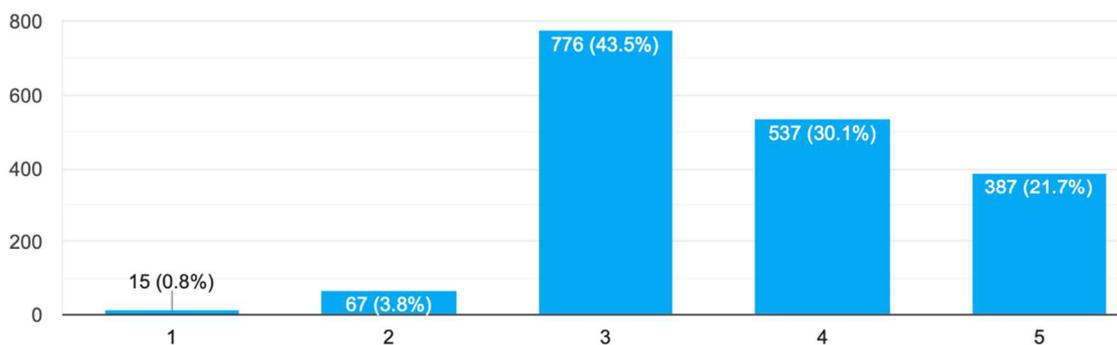
✓ **Q13、14 締切の案内および発表の日程**

いずれの質問も例年通りの回答割合であり、抄録締め切り日時や発表日程の詳細な連絡については定着していると思われる。

**Q13. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)抄録の締め切り日程は適切でしたか?**



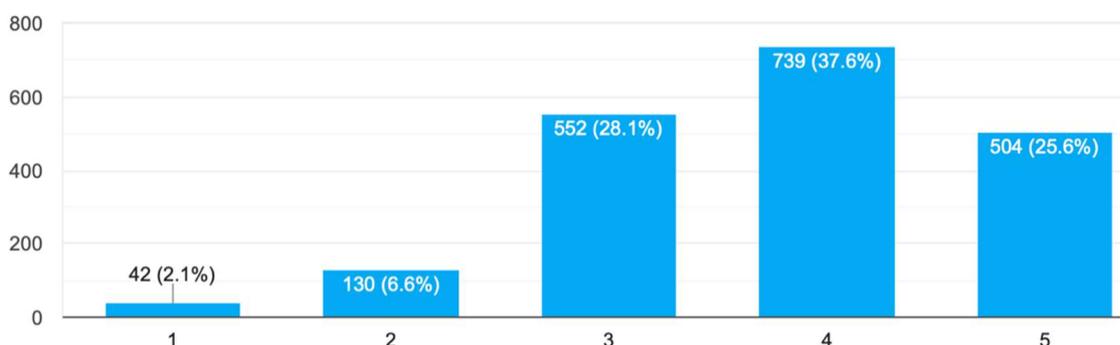
**Q14. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)発表日程のご連絡は適切でしたか?**



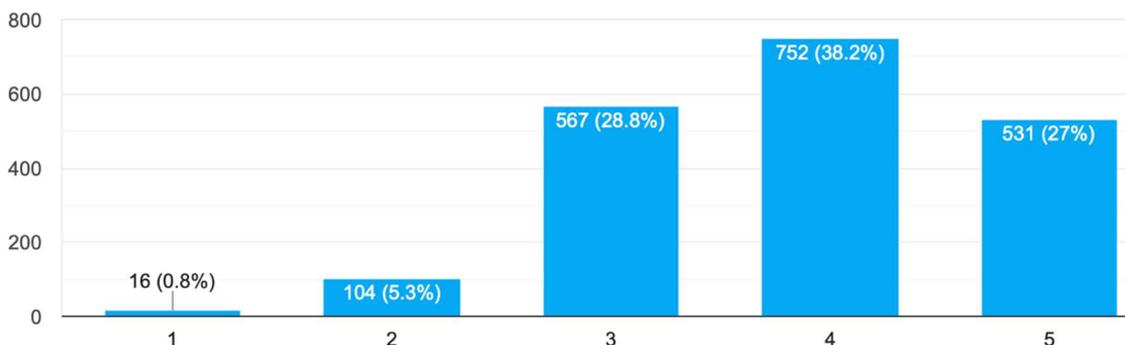
## ✓ Q15-19. プログラム

いずれの回答も2点以下は10%未満であり、プログラムの構成について非常に満足度が高いと評価された。自由回答でもプログラムが非常に良かったという意見が多かった(Q33, 34 参照)。61回、62回はWEB配信が中心であったが、63回大会はオンサイトの参加者が増えた結果、参加できるプログラムの幅が広がったことが高い満足度につながったと思われる。また、学術委員の努力、公募プログラムの質の高さ、他学会や最先端の研究プロジェクトとの連携プログラムが多かったことが、大変満足したという評価につながったと推察する。

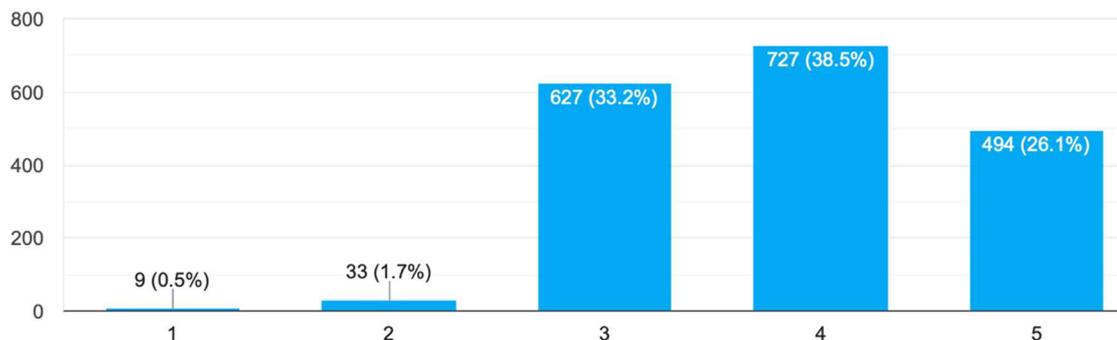
### Q15. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)プログラム構成は満足いただけましたか?



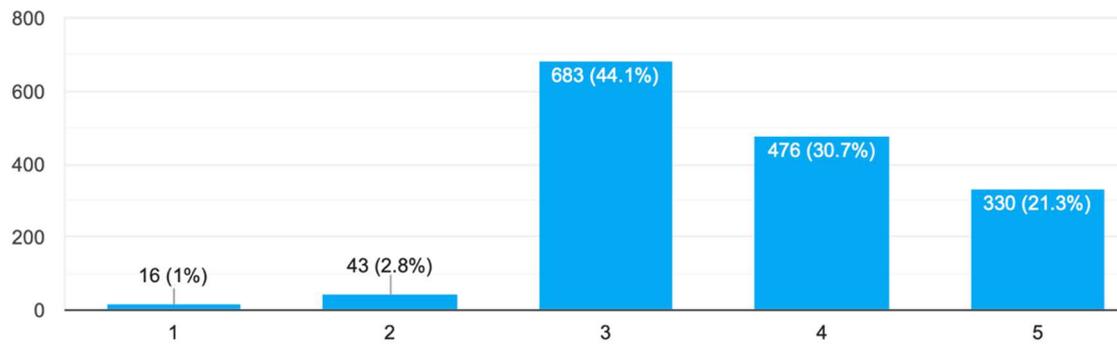
### Q16. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)シンポジウムのテーマ選びはいかがでしたか?(臨床・基礎のバランス、新規性など)



### Q17. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)一般演題からもシンポジウムに採択した演題があります。これは適切でしたか?



Q18. (現地参加・オンデマンド視聴された方、お答えください)レクチャーマラソンの内容についてはどう思われましたか？

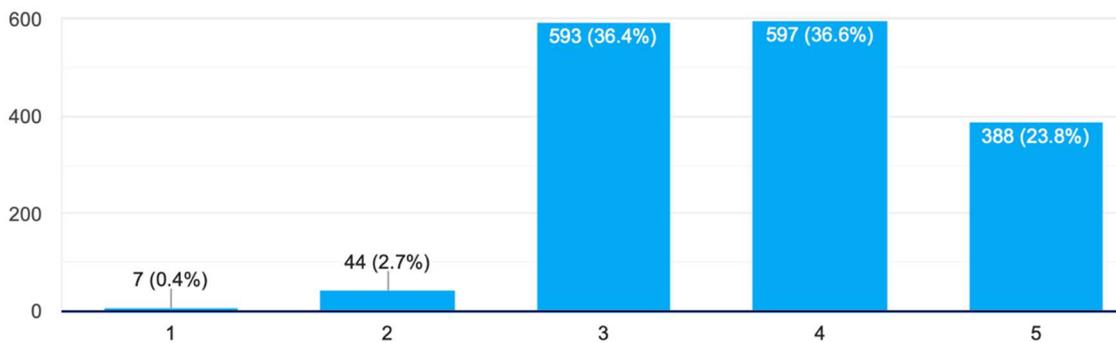


### ✓ Q19-23 口演発表方式、ポスター発表

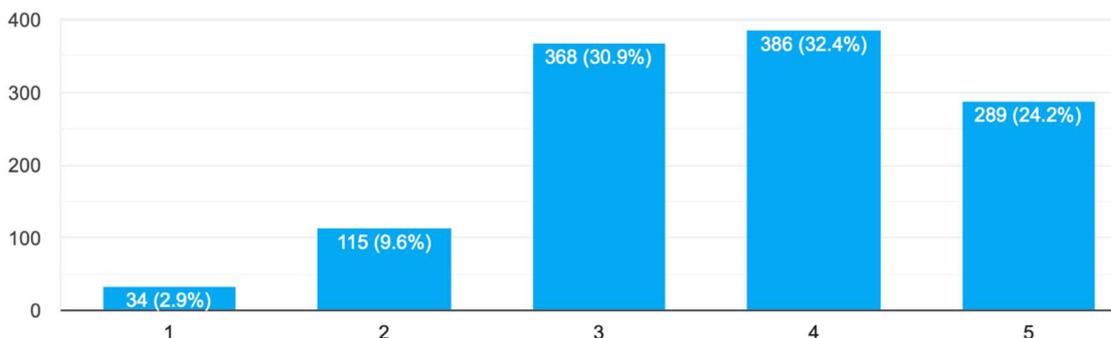
口演発表方式について、発表時間に対する評価は例年と同じ結果であり、概ね定着していると思われる。また、スライド投影や海外演者のリモート講演の接続についても 2 点以下は 5%未満であり、進行はスムーズに行えたと思われた。

ポスター発表については、会場の広さに対する否定的な意見は 10%程度であり、昨年と同様、感染対策に十分なスペースとして受け入れられていた印象がある。ショートトーク動画については 2 点以下が 10%未満であり、62 回大会よりも改善した。これはオンデマンドが参加者に浸透したことが理由として考えられる。実際に自由記載でもオンデマンドの充実が良かったとする意見が多数寄せられた。しかし、プレゼンテーションの方法については不満が 20%を超えていた。これは大声を出さないために 63 回大会で初めて簡易拡声器を用いたが、取り扱いを失敗するとハウリングを起こす、次の演者に渡す際に消毒が必要、など使い方が煩雑であったためと考えられる。今後、コロナ感染対策が必要な場合のポスタープレゼンテーション方法については工夫が必要と考えられた。

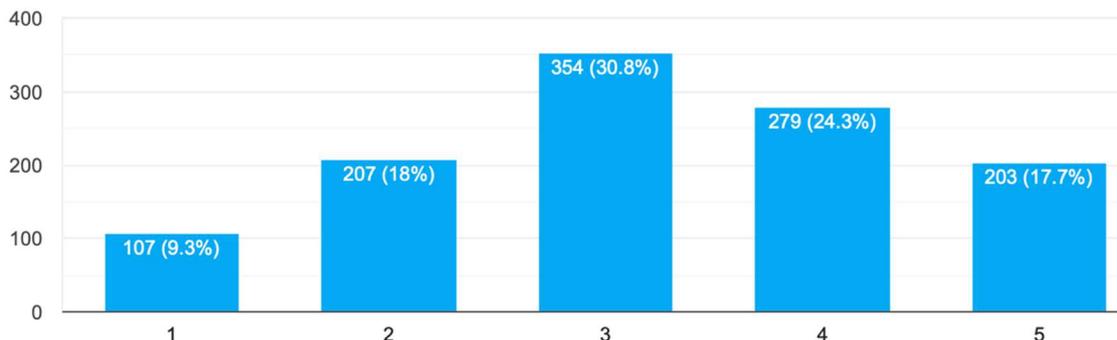
### Q19. (現地参加・オンデマンド視聴された方、お答えください)一般演題口演の発表時間(分)は適切でしたか?



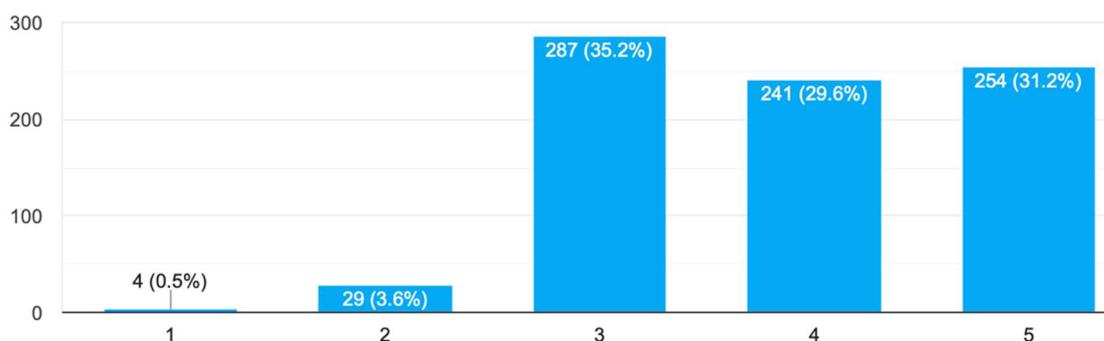
### Q20. (現地参加された方、お答えください)ポスター会場の環境(広さなど)は適切でしたか?



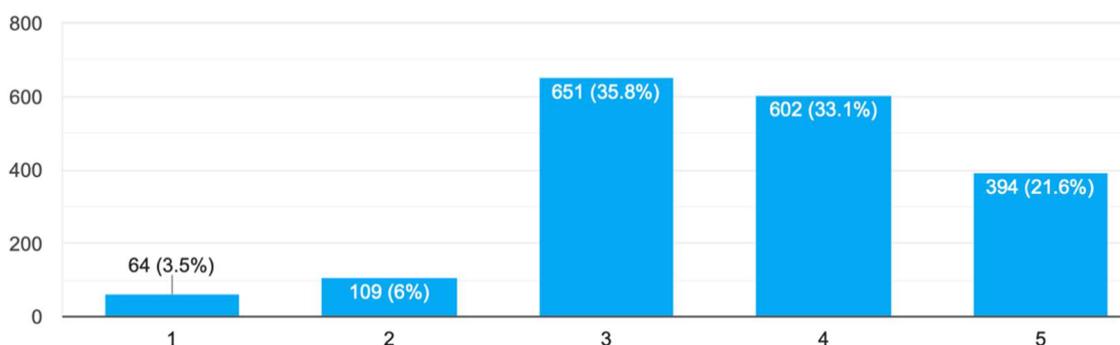
**Q21. (現地参加された方、お答えください)感染症対策として、ポスター発表では司会・演者ともにマスク着用の上、簡易拡声器を使用して発表を行いました。聞こえやすさはいかがでしたか?**



**Q22. (現地発表者の方、お答えください)発表時のスライド投影や海外との中継など、問題なくご発表いただけましたか?**



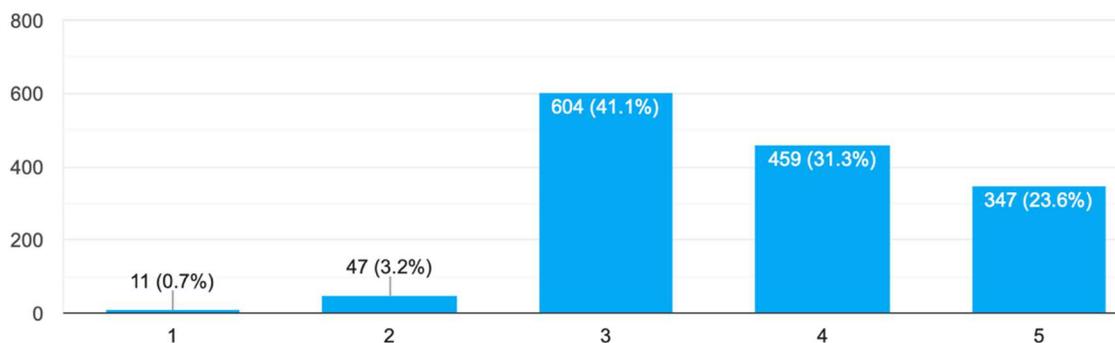
**Q23. (視聴・現地参加された方ともにお答えください) 感染予防対策のため、ポスター演題に関しては現地発表とショートトーク動画のウェブ掲載を併用しましたが、どう思われましたか?**



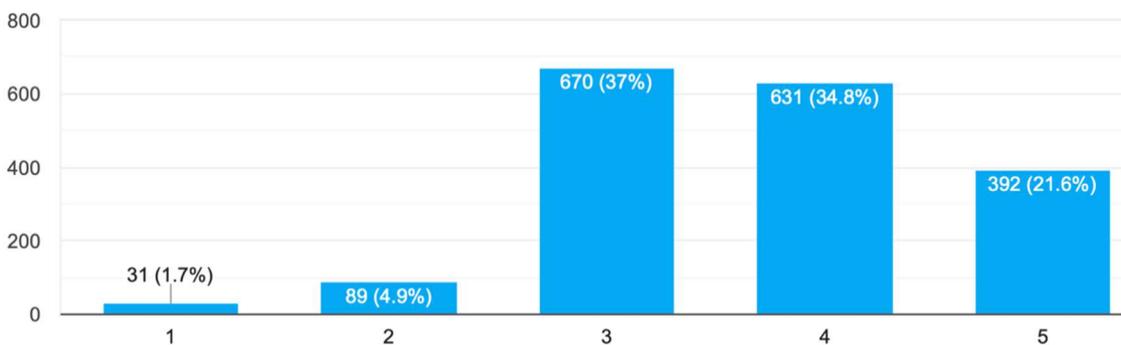
### ✓ Q24-26 学生セッション、海外演者の一般演題、レジデントクリニカルトーナメント

いずれも例年と同様であり、定着をしていると思われた。いずれも否定的な意見は 5%程度であり、参加者のダイバーシティを広げるためには今後も継続すべきと思われる。学生・研修医セッションと海外参加者については前年よりも 4 点以上が増えて 50%を超えている。今後も、学生や海外からの参加者の促進が必要であると思われる。また、レジデントクリニカルトーナメントは 62 回大会同様、半数が 3 点であった。前回は考察されているが、WEB ではなく現地で行い、観客も動員して臨場感のある開催が必要と考えられた。今大会では WEB 参加のチームの表彰は簡易な形式で終わってしまい、感染が落ち着けば現地開催を原則とするほうが盛り上がると思われた。

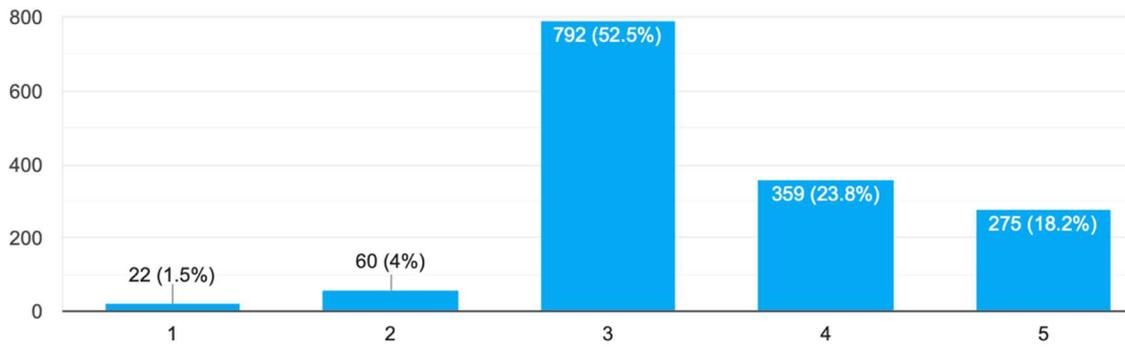
**Q24 (現地参加・オンデマンド視聴された方、お答えください)学生・研修医セッションは有用と思われましたか?**



**Q25. (視聴・現地参加された方ともにお答えください)一般演題の海外参加者と、国内参加者を同じセッションで扱っています。これは適切ですか?**



Q26. (ライブ視聴・現地参加された方ともにお答えください)本大会のレジデントクリニカルトーナメントについて、どう思われましたか？



#### ✓ Q27-32. セッション数、開催日程、開催時間

全体のセッション数は丁度よいが 66.1%、やや多いが 23.8%であり、2つの合計で約 90%であり、丁度よいボリュームであると思われた。英語演題数については丁度よいが 61%、やや多いが 25.3%、多すぎるが 8.7%であり、全体セッション数の感想と概ね同様の傾向であった。62 回大会と比較して 63 回大会では丁度よいが 10%以上上昇しており、英語セッションのバランスを考慮する必要があると考えられた。63 回大会では、演題数 525 題、全体の 31%であり、62 回大会では英語演題数は 552 演題で、全体の 33%であった。62 回と同様 63 回大会では海外演者をほとんどオンサイトに招聘出来なかったため、英語セッションの感想に影響を与えている可能性はある。

WEB ライブストリーミング配信されなかったものの中で、配信希望として挙げられたものは、最先端、トピックスなどを取り上げているシンポジウム・ホットトピックスに加え、若手向けの教育系セッション(レクチャーマラソン、教育コース)の要望も多く、62 回大会で寄せられた意見と同様であった。今後、一部のレクチャーマラソンや教育コースについてもライブストリーミング配信の提供を考慮しても良いと思われた。

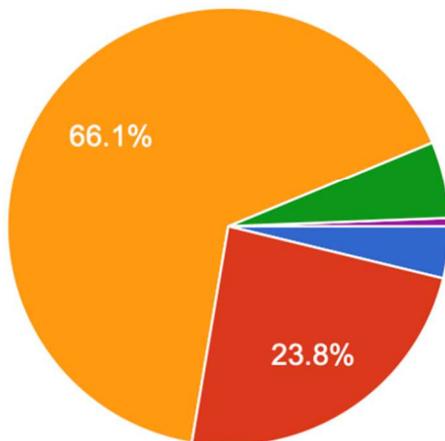
開始時間の希望は 9 時～が最も多く 41.4%、ついで 8 時 30 分～が 28.5%、8 時～が 21.4%であり、62 回大会後のアンケート調査と全く同様の結果であった。現行の学会学術大会開始時間である 8 時開始の支持は 3 番目であった。

開催期間の希望は 3 日間が 49.1%、4 日間は 46.6%と拮抗し、60 回大会と同様の傾向であった。62 回大会では 3 日間の希望が多い理由として、Web ライブ配信が少なかったこと、オンデマンド配信の導入などの影響と推察されていたが、今回の結果を見るとオンサイトで開催ができる場合は 4 日間を支持する参加者が多いことが予想された。

開催する曜日については過去数回の大会で行われた調査と同様に、現行の土曜日を含む日程が 68%と最も多く、土日を含むべきという意見は 23%だった。現行の開催曜日が最も受け入れられていると考えられる。

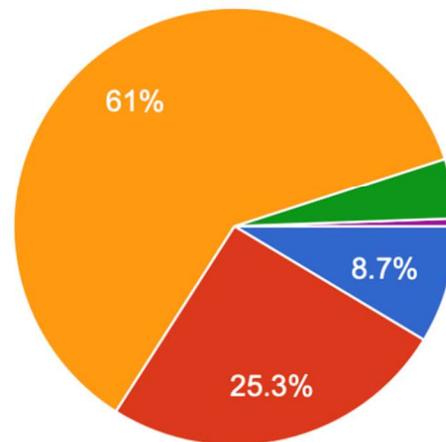
Q27, 28

### 全体のセッション数



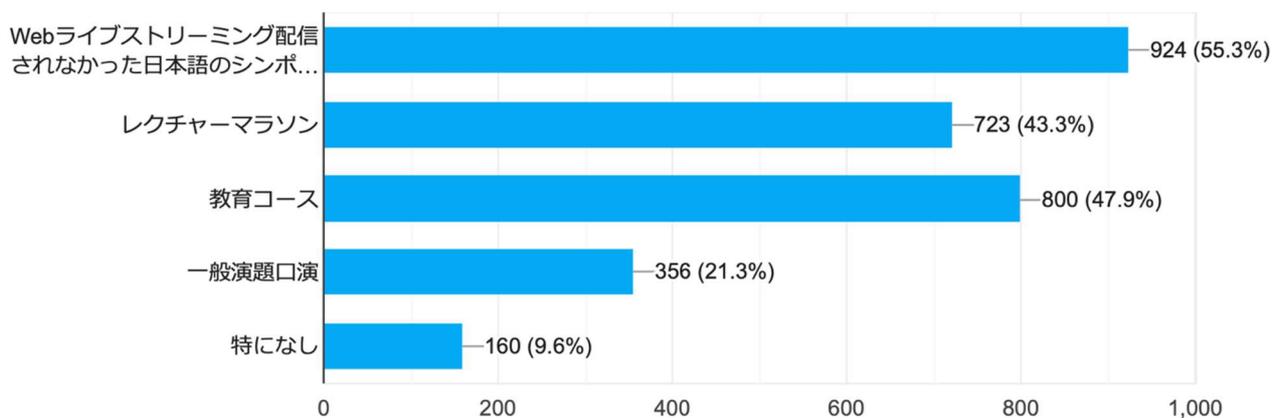
- 多すぎる too many
- やや多い slightly too many
- 丁度良い just right
- やや少ない slightly too few
- 少なすぎる too few

### 英語セッション数



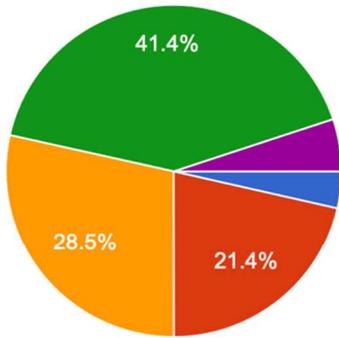
- 多すぎる too many
- やや多い slightly too many
- 丁度良い just right
- やや少ない slightly too few
- 少なすぎる too few

Q29. (ライブ視聴された方、お答えください)今回、ライブストリーミング配信対象外であったセッションのうち、ライブストリーミング配信があればよかったと思われるセッションはあったでしょうか?(最大 2 つまで選択可)



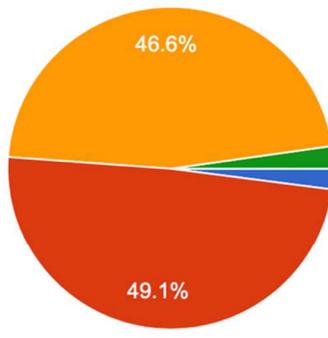
Q30, 31, 32

開始時刻



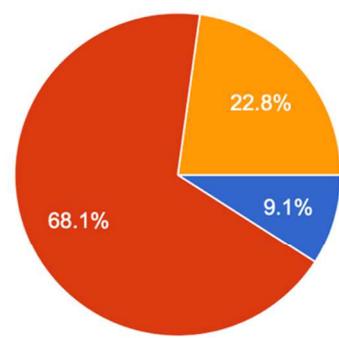
- 7:30am
- 8:00am
- 8:30am
- 9:00am
- 9:30am 以降 (9:30am or later)

開催期間



- 2日間 2 days
- 3日間 3 days
- 4日間 4 days
- 5日間以上 (5 days or more)

開催曜日



- 平日のみが良い only weekdays
- 土曜日をいれるべき (このまま) should include Saturday
- 土日をいれるべき should include Saturday and Sunday

**Q33. 全体を通じて、本学術大会の運営において評価できる点があればおしえてください。**

運営・プログラムについて

全体的に良かったと思います。

ご苦労様でした

コロナ禍でとてもよく運営されていたと思います。

基礎研究の演題もかなり採用され、臨床との橋渡しの希望の意図がみえてよかった。

プログラムが充実していた

特に問題なく順調に運営されたと思います

プログラムがとても充実していました。また、発表も多くの人が集まり、充実感を得ることが出来ました。

学生や研修医など今後本学会の担い手となりうる若手にアクセスの機会を広げたこと。若手医師以上に積極的な興味をもち、準備をして学会に臨んだ何人かに出会った。

時間的に余裕のあるスケジュールになっていてまわりやすかったし、最近のトピックスも多く勉強になった医学の進歩を改めて感じさせられた。

シンポジウム内容がホットな話題が多く、大変勉強になりました。

web参加のみでしたが、充実した講演を拝聴することができました。

プログラム構成がよく、効率的にセッションを回れました。

プログラムが素晴らしかった。また大会長講演は、感動した。

大変よく教育されており、スムーズな運営が出来ていた。

比較的よくまとまっていた

シンポジウムが多かった点

新しいことが沢山学べた。

時間が守られていた点

教育プログラムがある事

「完全現地参加」にできなかったこと

オンライン参加可能であった点。いろいろなテーマがあった点。

良くも悪くも会長の色が出ていたと思った。

脳神経内科の開業に関するセッションはとても参考になりまた参加したいと思いました。

感染対策がなされていて、安心して聴講できた。ありがとうございました。

無事開催できたこと

現地でも内容が充実しており良かった。

To invite Dr tanaka to give a wonderful speech

円滑な運営だったと思います

きれいな会場で、のびのびと参加できた。すべてを web 配信しなかったことで対面の参加者が多く議論が活発であった

池上彰先生の講演は面白かったです。受付もすぐに案内の方が来て対応してくださり助かりました。

全体的に COVID-19 などタイムリーな話題があり勉強になりました

シンポジウムのテーマがいくつか斬新でした

コロナ禍にも関わらず安全で充実した学会運営に感謝しています。On site で人とディスカッションできる  
素 晴らしさを実感できる学会でした。ありがとうございました。

コロナ禍の中、準備・運営は大変なことだったと思いますが、会長の服部教授をはじめとした先生方のご  
尽 力のおかげで素晴らしい学会でした。

運営が丁寧に行われていてよかったです。有難うございました。

スムーズな開催

どのセッションも最新の話題で先生方のご講演も熱く刺激的で、あっという間の 4 日間でございました。

=====

講演内容に重複がやや多い感じがした

目立っていい点はありませんでした。

新規性がなく、あまり魅力的ではなかった。

アプリ・会場

アクセスしやすい

コロナ禍で大変とはいえ交通の便が良い東京で開催していただきありがとうございます。

会場の案内が非常にわかりやすかった。

会場へのアクセスが良かった

東京の比較的行きやすい場所

都心での開催であり、現地での参加もでき、時間の拘束が最小限に抑えられるため、引き続き、総会は  
首都圏での開催を希望します。

案内が丁寧で変わりやすかった。

受付の方が親切でした。

道案内の人数が多く手配されていてよかった。

回線がスムーズでした

場所を案内する人員が充実していた。

体温測定を行いその場でできたシールを貼る、というのは良かったと思います。ドリンクコーナーが充実  
していたこと、特に COSTA のコーヒーを扱っていたことが個人的には嬉しかったです。

会場案内がわかりやすかった、アプリもみやすかった

=====

東京国際フォーラムの構造が煩雑であった

会場案内の方が不案内でわかっていなかった。

素晴らしい会をありがとうございました。対面でできてよかったです。お疲れ様でございました。会場はわか  
りにくく、移動も困難でした。

会場内が非常にわかりにくかった。今回は 現地参加しつつも online 視聴できた部分で補った。

## WEB サイト・ハイブリッド

ハイブリッド開催は大変であったと思います。ありがとうございます。

両方のよいところが満喫できて、とても有難く感じております。

オンデマンド配信があるので、同じ時間に二つ以上聴きたい講演があった場合に両方視聴できる可能性があつて良かったです。

ハイブリッド形式はとても良い

オンデマンドが充実していた

久々の現地参加で気分が盛り上がりました。移動中に WEB 視聴もできてこちらも便利でした。

時間も労力も二重にかかるハイブリッド開催のスムーズな運営に感謝いたします

現地参加で顔の見える情報交換ができ、聞き逃した演題はオンデマンドで視聴出来る点。

Web 視聴が出来たこと

ハイブリッド開催の素晴らしい大会でした。

Web 参加のみでしたがとても分かりやすくアクセスできました

学会期間後も動画配信頂ける点はありがたい。

ハイブリッドでよかったです

Web 視聴があつてよかったです。

Web 視聴が可能なセッションがあつたこと。

学会後の配信が良い。

オンデマンド配信があつたのが良かった

web 視聴で参加しやすい

Web 視聴ができて、水曜日の参加できたので、大変でも Web 視聴も続けて欲しい

オンデマンド配信は非常にありがたい。現地参加でもすべてを見るのは難しいが、この形式ならすべてを見ることも可能である。

Web site の充実

ホームページから web で視聴がスムーズで高評価。

Web 視聴では視聴できない演題が多く、英語中心の講演を Web 視聴されており、不便に感じたが、オンデマンドで多くの演題をゆっくり勉強できるのはとてもありがたいと感じた。

=====

Web 配信は、聞きたくないのばかりで、聞きたいものは onsite で非常にストレスフルであった  
現地参加と同じ参加費を払っているにも関わらず、Web で視聴できる内容が少なく不十分。

WEB で全てが、みれなかった。聞けなかった。

web 視聴で見れない制限を減らして欲しいです。

Web 参加しましたが、視聴できるチャンネルが少なく、興味を持たない時間も多くあつたので、非常に残

念 でした。会長講演や特別公演は別として、ランチョンのように、同時に複数の選択肢を作って欲しいです。

Web ライブ視聴可能なセッションがすくない

web だとみたくても見られないものが多すぎて、同じだけの参加費を払うのがばかばかしい

ウェブ視聴できるシンポジウムが少ない。特に日本語のシンポジウムが殆どないため、ウェブ視聴のメリットを感じられなかった。育児中で現地参加が難しく、非コロナとなってもウェブ視聴も継続してほしい。

#### **Q34. 今後改善が必要と思われる点があれば自由にお書きください。**

特になし

##### 講演・プログラム

英語セッションでも演者の英語力が未熟で議論が成立しないときは日本語でよいと思う。

学会はやはり現地参加でやるのがよいとしみじみ感じました。

マスク着用しながらの発表は声が通りにくいで、発表者はマスクを外すことも考慮すべき。

毎年言われてますが、勤務の関係で日曜日も開催してほしい。

日本語英語での発表を主としていただき、同時通訳を字幕で行っていただくとよいと思います

議論が多くできるように 英語セッションは無理にふやさなくてもよい

日本人の発表で英語セッションは意味がない。申し訳ないがディスカッションできるレベルではない英語力、折角の総会なのにと考えた。

学会のタイトルは、社会の現況に配慮すべき。毎日、100歳に達せず、コロナ感染で亡くなっている方々がいらっしやるのに「100年幸福社会」はないと思います。

海外からの講演者を増やしてほしい

日本人のみでの英語セッションは特に必要を感じない。

演者の慣れない英語で話されるより native language で話していただいて字幕の自動翻訳機能を用いていただくとより理解が深まりそうです。

可能なら開催時期を5月末か6月初めに変更して欲しい。5月下旬は医療機関の決算期に当たるため、学会参加のためあまり留守にしたいくない。

一寸首をかしげるセッション オルガナイザーの名前も見られた。

できれば、6月開催にして欲しい。5月は連休と学会4日間で、診療日が減り患者さんにも負担ではないでしょうか？

メーカー主導のセミナーが多すぎて主題が見えませんでした。骨太のシンポジウムを作られると良いと思います。

国際化は大事だが、英語セッション推しが強すぎる

マスク着用の発表は聞き取りにくかった

日本語発表を増やしてください

基礎の日本語セッションがもう少し増えても良いのでは？

Web 視聴のみでしたが、本当に今回は、つまらない会でした。18000 円の価値はないです。もう少し工夫した様々な興味にこたえられる会であって欲しいです。

## 会場・運営

会場内のスクリーンが小さく、画面表示がよく見えなかった。

受付の混雑、事前登録した意味がない

トラベルアワードをもっと充実させてほしい。特に海外から参加する学会員に対する補助があると嬉しい。

ポスター会場で、マイクを使っているブースと使っていないブースがあり、後者の発表が前者の声にさえぎられてほとんど聞こえないことが何度かありました。

部屋が小さいと、後ろの席ではスクリーンが見えない上に、コロナ禍で密だった。ポスターセッションも同様に隣のプレゼンで聞いているプレゼンが聞こえなかったりした。

ポスターは会場が人が多く、どうしても密な状態になってしまっているのが気になりました。

発表者の映像をずっと写してしているために、スライドが小画面になってしまい文字が非常によみづらいセッションがあった。例年のように、発表者の映像はなしで、スライドを大画面にしてほしかった。

ぎっしりと座っているランチョンの黙食での食事中に、隣で咳をされたりすると、不安になりました。やはり、ランチョンは 1 席ずつ開けてほしいと思いました。

東京フォーラムの構造自体が講演場所がわかりにくい

会場が広すぎて、疲れた。会場案内がわかりにくかった。

ポスター会場の工夫が必要。

会場への行き方が分からず迷いました(遠回りしてしまいました)。

広いのは良いが、案内が分かり辛かった

コロナ禍なのに開始時間が通勤ラッシュと被っていたのでそれは少し気になりました

Wi-fi が使えない部屋が多かった。

LS で弁当が品切れだった。座席数と同数は用意してほしかった。

受付がスムーズであれば助かりました。※検温など長蛇の列でしたが案外スムーズに進みました。運営委員会のみなさんに感謝申し上げます。

企業ブースを縮小して、ポスターを広くするべき

## Web・ハイブリット

ライブ配信が少ない

web のみの参加でじっくり勉強できなかった。現在オンデマンドで勉強している。

すべてのセッションを web 配信すべき

Web 配信は、聞きたくないのばかりで、聞きたいものは onsite で非常にストレスフルであった

教育コースの内容が良かったので web で聴きたかったです。時間ももっと聴きやすい日中の時間だとい

と思 いました。

WEB 視聴のプログラムが少ないので、多くしてほしい。

WEB で見られる内容が増えるとありがたいです。

オンデマンドが多いほうが嬉しいです。

インターネット配信予定、抄録がとても使いにくく、予定のセッションが視聴できなかった。

Web ライブストリーミングで見られる演題に偏りが大きい(英語講演や池上彰氏の講演などが主でプラクティカルな講演はみられなかった)

web 配信の演題を増やすことを望む。

現地参加出来ない日もあるが live 配信が少なすぎた。

WEB で聴けるものが殆どない点が非常に残念でした。演者が WEB 参加のため動画での発表がいくつかありましたが、音声とぎれとぎれのものがありました。事前に運営側で簡単な音質チェックなどが必要であると思います、

ショートトークなど WEB 視聴のソースはさらに改善の余地あり。視聴案内がわかりにくかった。

Web で行うならば、視聴可能なセッションを増やして欲しい。

ライブ配信がほぼ英語のみに近いのは非常に残念。むしろライブ配信は日本語のセッションにすべき。

段々と、WEB になりそうな気がする

オンデマンド配信を拡充していただくと有難いです。

web だけの発表 にしてもよいのではないかと感じました。

web 参加のみでしたが、やはり仕事をしながらでしたので、中途半端になってしまった感じがあります。どうしても頭の切り替えが難しかったです。

web 視聴できるセッションを増やしてほしい

卒後レクチャーの Web 参加の人数制限をしないで欲しい

Web 参加は視聴できるものが限られているので、参加費をそれに合わせて減額してほしい

せっかくの WEB で講演が聞けるのに英語ばかりで参考にならない。チャンネルをもうひとつ増やしてほしい。

WEB 視聴できるプログラムを増やしてほしい。オンデマンド配信も全てのプログラムで行ってほしい。

教育講演やレクチャーマラソンも web で見せてほしい。

もう少し多くのセッションをオンデマンドで視聴できるようになっていればよかったです。オンデマンドは当日の質疑応答を視聴できればよかったです。

いろいろな理由で現地参加できないことがあるので Web 配信を増やしてほしい

Web で接続ができないセッションがあった(ランチョンセミナー)

ライブで見れる演題が少なかったです

日本語の演題を当日も web で見られる方が良い。

英語のセッションばかり web 配信されてもわかりにくい

ライブでなくてもいいので配信を増やしてほしい。オンデマンドも含めて。

オンデマンド配信は、事前に収録した講演動画を流すのではなく、できればライブで開催された映像を録

画したものを流してほしかったです。そうでないと質問内容などがわかりません。ポスター発表会場が混雑していて、密そのものでした。発表者と演者以外にも大量に集まっており、発表者と演者以外の方たちはショートトークを見るか、発表後に個別に質問してほしかったです。全体的には非常に良い会だったと思います。

web 視聴出来るセッションが少な過ぎる。

現地参加を重視するのはコロナ終息後も適切ではない。Web 参加を同等程度に充実させるべき。

Web 配信が少なすぎる。

もう少し(できればすべて)オンラインで視聴可能なセッションがある方が望ましい。

原則すべて Web 視聴できるようにしてほしい

ウェブではプログラムが限られていた

すくなくともシンポジウムはすべてライブ配信してほしい

web 視聴できるセッションを増やしていただければ有難いです。現地に行くことができない若手医師向けに、レクチャーマラソンなどを web 視聴できるようにしたほうが知識の向上につながるように思います。実際、質の高いレクチャーが行われていても肝心の若手医師は聴講できずにいるように思います。

Web 配信の会場を増やしてほしい。聞きたいか発表が被った時に見れるように、当日の Web オンデマンドを行い、Web 参加もっとできるようにしてほしい。

このデジタル時代であるにもかかわらず、Web 視聴できる演題が少なすぎる!!! Web 視聴ができる演題をもっと増やし、現地会場を縮小して学会開催にかかる費用を減らすべきである(東京ビックサイトではなく、後楽園ホールでやるとか)。

次回以降もライブ視聴やオンデマンド配信を続けてほしい。そうでなければ地方の勤務医が学会参加するのは難しい。

Web 配信を多くしてほしい

web 参加している同年代の医師の意見ですが web 配信で聴講したい口演が少なく、参加費が現地参加と同じということが不満なようでした。

Web 視聴を増やしてほしい。

すべての演題が WEB でも視聴できるようにしてほしい。オンデマンドでもよい。

Web での音量が小さい 追加プログラムの申込みが早期参加登録でないと出来ないのは不親切極まりない。席が不要な Web 参加なら当日でも受け付けられるはず

ライブ配信の選択数が非常少なく多施設で不評だった

同じ代金を払ったのに、web 参加で見られるセッションが、英語以外、全然なかった。このやり方なら web 参加が損です、割引すべきかと。

オンデマンド配信を増やしていただけると嬉しいです。

Web 参加の場合ネット環境で?音声途切れて聞き取りにくいことがあった

[ホームページ、登録](#)

未だに enter key を押す度に、全てが消滅するのではないかと不安を持つ、高齢会員がいる事にも配慮戴ければと思います。

様々な点(ex.学会参加、アプリ、演題登録)で個々にアカウントとパスワードを設定する必要があり、どれがどれだか分かりにくかった。

オンデマンド用の動画配信は負担にしかならないので中止にしてほしい。公開を希望しない場合にはオンデマンド用のファイル送信は中止にしてほしい